

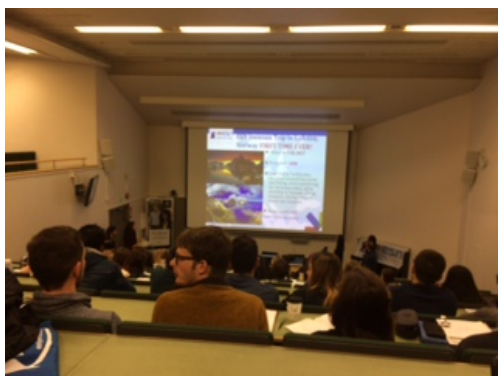
派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2016/12/21 ～ 2017/1/31)

1. 勉学の状況

◎Guidance

交換留学生向けのガイダンスが、1月10日～12日にわたってありました。そこで発覚したのですが、今期 (Spring Semester) からの日本人の交換留学生は、私1人のようです…。ただでさえ、フランスやドイツなど、ヨーロッパ圏からの留学生がほとんどを占め、アジア圏が少なかったため、少し心細かったです。後日、私についてくれているチューターの子に、日本人は1人だったということをお話すると、驚いていました (笑)



ガイダンスの様子

◎Survival Finnish

今は、Survival Finnish という授業を受講しています。これは、フィンランド語初心者 (交換留学生向け) のクラスです。今、始まっているのがまだそのクラスだけなので、この授業について少し書きたいと思います。はじめは、あいさつ、自己紹介、簡単な単語などから始まり、最近では、時計、動詞の活用などを習っています。ただ、単語をなかなか覚えることが出来ません。この前の授業では、ドイツ人の子が隣にいたのですが、今習ったばかりのフレーズを、何も見ずにペラペラと話していたので、驚くばかりです。すごいです。しかし、覚えた単語が、スーパーに書いていたり、街の人の会話に耳を傾けていると知っている単語がたまに聞こえてくるときは、「知っている単語だ！」となんだか嬉しくなります。

◎他の授業について

東フィンランド大学の授業は、曜日が毎週決まっているものもあれば、週によって曜日が変わるものもあります。また、すべての授業が一月から始まるのではなく、二月から三月の間の2か月間だけの授業もあれば、ゆっくりと4ヶ月続く授業もあり、様々です。そのため、まだ専門科目の授業は始まったばかりのものや、まだ始まってない授業もあります。そのため、他の授業の様子などは後日あげていきたいと思います。

2. 生活の状況

◎イギリス旅行

実は、フィンランドへ来る前、イギリスへ少し旅行していました。ロンドンを主に巡っていたのですが、街を歩けば2階建てバス、赤いポスト、大聖堂と、歴史が今も残っていて非常に素敵な街でした。縁があって、クリスマスの日、地元の方のクリスマスパーティーに招待してもらい、参加させていただくことになりました。家族や親戚が集まり、一緒に豪華なディナーを食べ、クラッカーを鳴らし、大人も子供もみんなでプレゼント交換をします。クラッカーといっても、私が知っていたクラッカーとは違い、大きなリボンのようなものを、両側から引っ張ります。今回のクリスマスでのクラッカーの中には、なぞなぞの書かれた紙と、トランプや知恵の輪などのおもちゃが入っていました。また、クリスマスプレゼントもちゃっかりもらいました。非常に楽しく、貴重な経験ができたと思います。



クリスマスディナー 豪華です●



クリスマスプレゼント 量がすごい



右の赤いのがクラッカー



クリスマスプレゼントに靴下とボディーソープ

◎VISA

今回の留学前において、一番ひやひやしました。今回の VISA の申請には、東フィンランド大学からの入学許可証が必要です。千葉大学から留学許可（合格）が下りたのが 2016 年の 9 月半ばで、その時点で、他の留学生と比べ少し遅れているといった感じでした。それから、東フィンランド大学への申請を急ピッチで進め、できる限り早く入学許可証を入手し、それからすぐに大使館へ向かい、手続きを完了しました。手続きが完了してから大体は 3 週間ほどで届くと聞いていたので、後は待つのみという状態になり、一安心しました。しかし、大使館へ行った日から 1 か月経っても届く気配はなく、大使館の方へ問い合わせしてみたところ、まだ時間がかかると言われてしまいました。その後、何度も問い合わせをしたり、もし、イギリスへ行くまでに届かなかった時の策を練ったりと、精神的にしんどかったです。その後、日本を出発の 4 日前に何とかフィンランドの VISA を入手することができ、ギリギリにはなりましたが、本当に安心しました。（結果、大使館へ行ってから、手元に届くまで、2 か月近くかかりました）最初、フィンランド大使館のホームページに繰り返し、ビザの発行の催促には取り合わない、という内容が書いてあったため、連絡するのをためらっていたのですが、もっと事前から連絡しておけばよかったと反省しています。

しかし、ほとんどの留学準備を自分一人でするというのは、初めての経験だったので、すべてが自分に責任がある分、とても良い勉強になりました。

◎ヨensuuー到着

ヨensuuーに到着した日は、 -23°C と、初めて体験する寒さでした。ものすごく寒く、鼻の中まで凍ります。ヨensuuーに到着して、チューターの子に私のアパートまで案内してもらいました。私のアパートは、家具付きなのですが、家へ到着すると、ベッドがあるものの、掛け布団がなかったり、枕がなかったり…。

イギリスからの移動の疲れ、寒さ、パートの近くは、木と雪景色ばかり、などで、初日はかなり不安でした。まだヨensuuにどのようなお店があるのかが分からなかったのと、インターネットの契約を事前にしていたので、家で使えるものだと思っていたら、Wi-Fiが繋がらなかったのも、途方に暮れていました。とりあえずは、ゆっくり寝て明日考えようと思い、寝ることにしました。朝起きて、とりあえず、市内に行ってみました。市内は、思っていたよりも栄えていて、家具などはとりあえずここで揃えられそうだと思います、一安心。ただ、夕方にはお店が閉まってしまうのと、日曜は空いてないお店が多かったので、調達に少し苦労しました。



Finnair 飛行機内のコップからマリメッコ



カレリアパイといって、フィンランドの郷土料理
スーパーなどで、1個50円ほどで売っています

◎ 3週間後

到着してから約4週間経った今は、だいぶ生活も落ち着いてきました。最近の気温は-5℃などで、やはり到着した日と、その次の日が一番寒かったです。ただ、最初にあの寒さを経験出来たおかげなのか、最近の気候はあまり寒いと思わずに済んでいます。

天候は、曇りの日が多いのですが、その分晴れた日はとても嬉しいです(笑)

私が到着してから、日照時間も延びていて、それもまた嬉しいです。といってもまだ、朝の8時は暗いです。日本に比べ、日照時間が短いせいなのか、睡眠時間が増えました。(笑)

◎サウナ

私のアパートは、毎週水曜日の夜にサウナの無料開放があります。フィンランドの楽しみの1つとしてサウナがあったので、行ってきました。すると、なんと偶然にも日本人の子に会うことが出来ました。初めてサウナに行くまで、フィンランドへ来てから日本人に会ったことがなかったので、日本人に会えたことに感動してしまいました。

サウナはすごく気持ちよく、もうすでに3回も行ってしまいました！

◎フィンランドの人びと

こちらに来て、驚いているのが、フィンランドの方は英語が公用語ではないにも関わらず、英語でさらっと話してくれます。ヨエンスーの町の、ファストフード店の店員さん、バスの運転手さん、スーパーのレジの方、未だに英語を話せない人に出会ったことがありません。また、発音もすごく聞き取りやすいです。そして、本当に親切です。フィンランド語のメニューで分からず悩んでいると、「分からないことがあれば言ってくださいね！お手伝いしますよ！」としてくれます。また、店員さんに聞くと、みんな笑顔で丁寧に返事をしてくれます。

改めて、フィンランドへ来ることができ、良かったなと思います。



左に見える白いところ、川ですが凍っています



学食（学生は300円ほど）今回はスイカが出ました



アパート前 この日は快晴できれいな景色でした



街のお店の marimekko コーナー

ヨエンスーに住む人に2回言われたことが、「なんでこの季節に来たの!? 夏を楽しんでね!!」
ということです。(笑) この街の夏の写真を見ると、今は何もない広場に、マーケットが並び、
とても賑やかで素敵な街です。冬は冬で、きれいな雪の景色や、空の移り変わりを楽しめますが、
夏はどんな景色になるのだろうと、待ち遠しいです。

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017 / 2/1 ~ 2/28)

1. 勉学の状況

◎Survival Finnish

フィンランドの授業が、終わりました。やはり、英語に似ているとはいえ、単語を覚えることはなかなか難しかったです。今回は、フィンランド語を少し紹介したいと思います！

●ありがとう = kiltos!

これが、こちらへ来て、一番使っている単語だと思います。私は、バスが主な移動手段なので、バスの乗降車でよく言います。

●こんにちは = Moi, Hei, Terve

挨拶は三種類あって、みなさんランダムで使っているような気がします。

●ばいばい = Moimoi, Heihei, Heippa, Moikka

“こんにちは”の言葉を二回続けるという、なんだか可愛いです。個人的には、moimoiがお気に入りです。

●はい = Joo(ヨー) いいえ=Ei

フィンランド人の会話を聞いていると、“ヨー”というワードがよく聞こえてきます。

◎Winter Ecology

この授業では、冬ならではの環境についてや、冬に備えて植物がどのように変化していくのかなどを学びます。

例えば、湖が凍っていく、季節ごとの氷の形の変化や、温度によって氷が耐えられる重さなどが紹介されました。なかなか、日本では、ここまで寒くなる季節はないので、雪国ならではの感覚を感じています。

2. 生活の状況

◎BBQ

先日、BBQをしてきました。教えてもらうまで知らなかったのですが、家から2.5キロぐらい離れたところに、BBQができる場所がありました。その日は快晴で、休日だったこともあり、フィンランド人の家族とシェアをしながら、焼いていくという感じでした。

ただ、こちらの人は、BBQといっても、ソーセージを持ってきて、焼いて食べてすぐ帰るといった感じです。その日は日本人の友達と行っていたので、私たちが長居している間に、3グループも入れ替わりました。途中、火力の調節方法など、フィンランド人の方に教えてもらったりしていました。

少し寒かったですが、雪の中のBBQという貴重な体験ができ、楽しかったです。





やはり、BBQと言えば、定番のマシュマロ！

◎International dinner

これは、主に留学生が、自分の国の料理を持ち寄り、みんなでシェアをしあうというイベントです。私たちは、肉じゃが、おにぎり、お好み焼きを作りました。ごはんをお鍋で炊いていたので、ご飯が一つ焦げてしまうというトラブルがあり、少し、到着が遅れてしまいました。そのため、到着したときには、他の国の料理があまり残っておらず、思う存分食べられなかったことが悔やまれます。。

ただ、持って言った料理を、「これは何？おいしいね！！」など、たくさん言ってもらえました。日本食を少しでも好きになってもらえたら嬉しいです。



ご飯を炊いて、肉じゃがを作って。。。やはり日本食が落ち着きます



International dinner の様子

2月は、慣れてきたせいか、日数自体が少ないせいか、あっという間に過ぎていったような気がしました。

2月上旬は、0度を超える日が何日もあり、少し雪が解けたりもしたのですが、最近は一10℃ぐらいの日が続き、雪も少し降っているので、なかなか、雪の下にある地面が見えてきません…。フィンランド人の友達に聞くと、3月ぐらいに雪が解け始めると言っていました。春が待ち遠しいです。

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017 /3/1 ～ 3/31)

1. 勉学の状況

◎Winter ecology

以前少し紹介した Winter ecology の授業のテストがありました。テスト内容は、大問が4問あり、それに解答する形です。形式は、千葉大学で受けていたテストとさほど変わらないなという印象でした。ただ、日本語でさえ、テスト前は専門用語を暗記するのに苦労していたので、英語で解答するとなると、専門用語を英語で覚え、英語で解答するという工程がなかなかハードでした。

この授業では、以前紹介したもの以外にも、雪の結晶のでき方、冬を乗り越えるための植物の変化、冬を迎えると雪と同じ白色に変化する動物などを学びました。

個人的には、雪の結晶のでき方のレクチャーが一番面白かったです。

◎Clinical Psychology

個人的に、興味があったので、とってみた授業です。テストも終了しました。

この授業もまた、専門用語が多く、理解することが難しかったです。

テスト内容は、ある人物の症状が書いてあり、その人に対する医学的な診断と、その理由、また、治癒していくためにどのようにするべきかを答えるものでした。出来があまり自信ないので、再テストを受けようと考えています。

千葉大学では、再テストがある授業は親切、という印象でしたが、東フィンランド大学のほとんどの授業では、再テスト、再々テストがあります。

そもそも授業自体、“1ターム火曜の4限”のように曜日や期間が決まっておらず、バラバラなので、たまに授業がかぶってしまうことがあります。再テストがあるのは、そのような状況などを考慮したうえなのかもしれません。

2. 生活の状況

◎バルト三国

2月の末から3月の頭にかけて、バルト三国へ旅行へ行ってきました。バルト三国とはエストニア、ラトビア、リトアニアの国々で、それぞれの首都を主に巡ってきました。

●エストニア（タリン：首都）

タリンは、ザ・観光の町！！という印象でした。中世ヨーロッパの食事を再現したレストランへ入ると、照明はロウソクのみ、店内では民族衣装を来た店員の方たちが、ノリよく案内してくれます。また、店内での楽器の生演奏を聴いたりなど、こちらが楽しくなるような工夫がたくさん凝らされているなと感じました。

また、タリンではツアーだったのかは分かりませんが、日本人の方に多く出会いました。雑貨屋さんなど入っていると、かなりの確率で、日本語が聞こえてきて、日本にいるような錯覚さえ起きました。



お土産屋さんが可愛いです



タリンの街並み

●ラトビア（リガ：首都）

個人的には、このバルト三国の中で、一番好きな街でした。ほどよく昔ながらの街並みが残っており、ビルや大きな図書館もあり、といった感じです。

このバルト三国を通して琥珀が有名なのか、琥珀のお土産が多かったです。

●リトアニア（ビルニュス：首都、トラカイ、カウナス）

ビルニュスは、時間と体力の関係上、あまり時間をさけなかったのですが、少し落書きが多いな、という印象でした。

トラカイは、湖の上にお城があり、非常に美しかったです。

カウナスは、杉原千畝、ゆかりの地、ということで行ってきました。学校の社会の授業で名前を

聞いたことがあったものの、具体的にどのような状況で何をしたのかをあまり覚えていなかった
ので、実際に行けたことで印象に残り、杉原千畝さんの行いを日本人として誇りに思い、感動し
ました。



杉原千畝 ゆかりの地



湖に浮かぶ城 トライカイ城

この三国を回る際、バスを利用して行ったのですが、とても快適だったので紹介したいと思いま
す。利用したのは LUX というバス会社です。様々な映画が入っており、コンセント、トイレ、
wi-fi、さらに、コーヒーやココアなどが飲み放題なのです。また、値段もそれぞれの都市間（バ
スで4時間ほど）が1000円ほどなどで、非常に安く感じました。

この旅行では、飛行機ではなく、船でヘルシンキからエストニアのタリンまで行きました。物価
も安くパスポートも必要なく行けてしまうため、フィンランドの人びとは、お酒を買うために
行くこともあるみたいです。（フィンランドで酒税は高いです）帰りの船では、売るのかな、とい
うぐらいお酒を買っている人や、船の中ですでに空けて飲んでいるほろ酔いの人びとが多かっ
たです。



快適なバス



モールのようですが船の上です とても綺麗でした

◎Japanese Language Café

この Language Cafe というのは、主に留学生が主体となり、自国の言語を他の生徒たちに教えるというものです。ボランティアのようなもので、私も日本語を教えるお手伝いを、参加できる時にしています。韓国語のクラスにもたまにいており、そこで繋がりのできた友達も多いです。他には、フランス語、スペイン語、フィンランド語など、があり、参加は自由です。

日本語の Language Café は9月から来ている日本人の交換留学生の学生が、今は Organizer となり、週一回ほどのペースで毎回パワーポイントなどを使い、ひらがな、カタカナ、あいさつ、歌、文化などを紹介しています。

そして今回は、公共の図書館の場を借りて、このCaféを開催しました。交換留学などで来ている日本人の友達の何人かが、浴衣を持ってきていたので、浴衣の紹介や、折り紙で鶴や手裏剣などの折り方を教えました。いつもは、同じ大学の学生がほとんどだったのですが、公共の図書館だったこともあり、子供や初めてお会いする地域の人と交流することができ、いつもとはまた違ったCaféになり、楽しかったです。



Japanese Language Caféの様子



折り紙をみんなで作ってます

◎自転車通学

そろそろ雪が徐々にではありますが解けてきたのと、旅行の日程のこともあり、こちらへ来てから買ってきたバスの1か月定期を買うのをやめ、できる限り自転車通学にすることにしました。この自転車は、buy and sell という、Facebook のグループで見つけ、購入したものです。

3月上旬の頃は、ちょうど雪が解けだした、といった感じで、雪がシャーベット状になり、非常に運転しづらかったです。今は、大きな道路に出れば、ほぼ解けきっていて、日本にいたころと変わらないのですが、家の前など、日があまり当たらず、人も道路ほど通らない場所は、凍っていて、アイススケート場のような感じになっています。気を付けてはいたのですが、2回も転んでしまいました(笑) 十分気をつけたいと思います。

徐々に雪が解けてきたものの、やはりまだ解けきってはいません。4月中旬ごろには解けきると嬉しいです。日はかなり伸びてきて、もう日本の日照時間を越しています。また、サマータイムに変更になったので、今まで日本との時差が7時間だったのが、6時間になりました。(こちらのお昼の12時が日本では18時です。)

日照時間が伸びてきたせいか、街の様子もなんだかウキウキしてきたような気がします。

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017 /4/1 ～ 4/31)

1. 勉学の状況

◎International environment

この授業では、主に環境学について学びます。最初の授業では、地球温暖化について、京都議定書やパリ協定の内容の説明でした。そのうえで、平等とはなにか、地球温暖化対策に取り組むにあたって、平等に振り分けるためにはどのように国を分割していけばよいかなどを考えます。例えば、先進国が発展途上国よりも温暖化対策について責任をとるべきなどといったことです。

この授業の最後に、4, 5人の小グループを作り、教授が提示する質問についてディスカッションします。東フィンランド大学では、ほとんどの授業でグループワークがあります。この授業では、授業の最後に話あう形ですが、最初に2, 3人のグループを作り、課題を進めていく授業などもあります。もともと日本で、グループワークのある授業がそれほどなかったこともあり、グループで話し合うということに対しまだ苦手意識を持ってしまっています。

また、授業の内容や、他の人の意見の内容を理解はできるのですが、なかなか自分の言葉で思ったことを英語で表現することが上手に出来ません。

まだまだ、自分の英語のできなさを痛感していますが、自分の考えを表現できるよう、少しでも苦手意識を克服していけるよう、頑張っていきたいと思います。

2. 生活の状況

◎イタリア旅行

大学では約一週間のイースターホリデーというものがありました。その間授業がなかったので、イタリア旅行へ行ってきました。(こちらにはゴールデンウィークがないので、イースターホリデーはその代わりだと思っています) 回ったのはミラン、ベネチア、ローマの3都市です。(ナポリは治安がすごく悪いというのを聞いていたのと、日程も十分になかったので行きませんでした)

イタリアは、治安が悪く、街もゴミがたくさん落ちているイメージがあったのですが、思ったよりも街はきれいでした。用心はもちろんしていましたが、軽犯罪にあうこともなく、楽しい旅行が出来ました。

特に、水の都、ベネチアは、素敵な街でした。歩けばいたるところに運河があり、車やバスの移動ではなく、船で移動します。船での移動自体が私にはとても新鮮で、ホテルまでの移動だけでワクワクしてしまいました。ベネチアは、世界で一番美しい街とも言われるだけの、心動くものがあり、また行ってみたいと思えた街でした。



トレビの泉（ローマ）



コロッセオ（ローマ）



ベネチア

どこを歩いてもこんな素敵な景色です



ジェラート

とてもおいしかったです（GROM）
（ピスタチオがおすすめ）



ブルーチーズ

100グラムで150円ほどです

日本では考えられない安さ！

美味しくいただきました



ドゥオーモ（ミラノ）

◎治安について

治安について、今回の旅行を通して少し思ったことが、治安の良さと接客の対応の良さは比例しているのではないかということです。同じイタリア内でも、人に道を聞いたときや物を買う時の対応が、都市によって違う印象を受けました。ベネチアは、お店に行ってもほとんどのお店で、笑顔で親切に対応してもらいました。一方、首都ローマでは、チケットを買うにしても、道を聞くにしても、不愛想に対応される確率が比較的高かったです。（もちろん、とても親切に対応してくれる人もいました）この2都市の治安はというと、ローマではよく分からない理由で話しかけてきた人が多かったのに対し、ベネチアではそのようなことはありませんでした。

このとき、フィンランドの治安を考えてみると、とても良いです。また、人柄を考えてみても、みんな親切で、笑顔で対応してくれます。嫌な顔は一度もされたことはありません。

これは、自分の数少ない経験からの思い込みなのかもしれませんが、治安のよい場所であれば、他人にも優しくする余裕が生まれてくるのではないかと思います。

◎最近のヨエンスーの気候

ようやく、雪が解けてきました。ただ、まだ家の周りなどは少し雪が残っています。数日前はなんと吹雪いていました。けれども、10℃以上になる日もたまにあり、春が来たなと個人的には喜んでいます。

また、日照時間ですが、とても伸びており最近では、夜の10時ごろでも薄暗いです。そのためか、夕食の時間が8時や9時になることがあり、少し体内時計が崩れてきています…。明け方は、3時過ぎぐらいから薄明るくなってきています。

まだ、夜も明るいという感覚に慣れきってはいませんが、日本には体験できないことだと思うので、これからのフィンランドの夏、楽しみたいと思います。

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/ 5 / 1 ~ 5 / 31)

1. 勉学の状況

◎International environment

前回に引き続き、この授業についてです。この授業では、授業ごとに出される宿題があります。東フィンランド大学も千葉大学と同様に moodle が存在し、今回は moodle に提出とのとこでした。授業では、一貫して環境学についてですが、海洋法の歴史的背景と存在意義、大気法はなぜ必要なのか、また、CSR（企業の社会的責任）の環境面において明確な国際基準があるかなどを毎回の授業をもとに考えていきます。今までなんとなくは知っていた内容が多かったので、それぞれの事柄について少し詳しく知れたことは面白かったです。そこまで深くは考えたことのない内容もいくつかあったので、それらを改めて考えることが出来た良い機会だと思いました。実際の授業では、まだまだ、自分の考えを伝えきることに苦戦しつつも、他の学生の意見を聞けるのも面白いと思いました。私なりに刺激を受けたのは、質問からちょっとズレているような回答でも発言をする人はためらわず発言します。私も、少しでもためらわず堂々と発言できるように、彼らを見習っていこうと思います。

2. 生活の状況

◎フィンランド人のお母さん

以前、公共の図書館で行っていた Japanese Language Café でヨエンスー在住のフィンランド人のお母さんに会いました。私は、隣に座り、折り紙を教えたりしていたところ、そのお母さんに「今度、家に遊びに来ない？」と誘っていただいたことがきっかけで、その方の家に遊びに行かせていただきました。その日は、旦那さんもお迎えしてくださり、おいしいフィンランド料理をご馳走してくださいました。家の中は本当にかわいくオシャレな家具で溢れていて、木造なこともあり、本当に居心地がよかったです。

また、その後日、そのご夫婦がコテージを持っているということで、そこにも遊びに行かせていただきました。コテージは、湖の近くにあり、サウナ小屋などもありました。メインのコテージの中はモデルハウスのような綺麗さでした。コテージでも、美味しい手作り料理をいくつかご馳走していただき、そのあとサウナも使わせていただきました。フィンランド式のサウナとして、

サウナに入った後、湖に入り、またサウナに入り、、という繰り返しをします。(日本のサウナの後の水風呂の代わりに湖に入るといったイメージです。)

湖は案の定寒かったです、本当に楽しく、貴重な経験が出来たと思います。

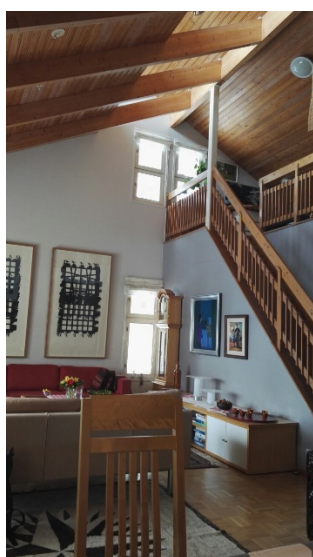
すごく優しい夫婦の方々に、すごく素敵な出会いが出来たと感じています。



湖のため、風が吹いていないときは鏡のようになります



サウナ後の入水、、、寒かった。笑



夫妻の家の中 温かみのある家です



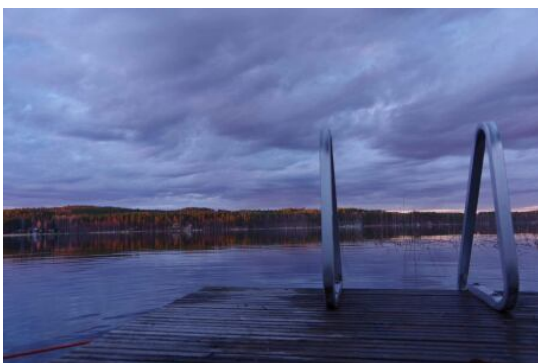
ケーキの作り方を教えてもらっています◎



お母さんが手作りのフィンランド料理を
ご馳走してくれました



素敵なコテージ



ここから湖に入ります



なんだか面談みたいですわね（笑）

◎最近のヨエンスー

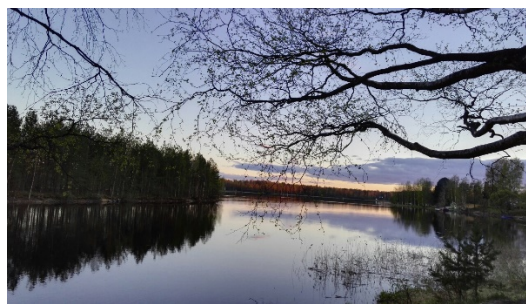
もう、ほとんどのこのセメスターで来ていた子たちが帰っていき、寂しくなってきました、、、。ただ、天候は本当に今、過ごしやすく一日中日向ぼっこをしていたいような気候です。五月の上旬は、吹雪いている日もかなり寒かったのと、もう五月なのに、、、という精神的ショックもありました。ただ、こんなに温くなるのが遅いのは、現地の人にとっても珍しかったようで、そんな年を過ごせたのは貴重なのかなと思いました。

今は、ほぼ完全に雪が溶け、新緑や芝生が生えてきています。最近の空も晴れの日が続き、緑や空の青、湖が反射でキラキラと輝いていて、本当にきれいです。気温も、15℃前後の日が多く、気持ちがいいです。

花もところどころ咲き始め、フィンランドの美しい景色、到来です！！



中心の広場に花屋さんが出店していました



家からほんのちょっと歩いたところ
たしか夜の10時ごろ 明るいです



道端にタンポポが…久ぶりに花を見たので嬉しくなり撮りました

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/6/1 ～ 6/30)

1. 勉学の状況

夏休みに入り、授業が今ない状態なので、また来期のセメスターが始まったら、レポートしていきたいと思います。

2. 生活の状況

今回は、私の住んでいるアパート (Latolankatu 9) についてレポートしていきたいと思います。

◎アパート

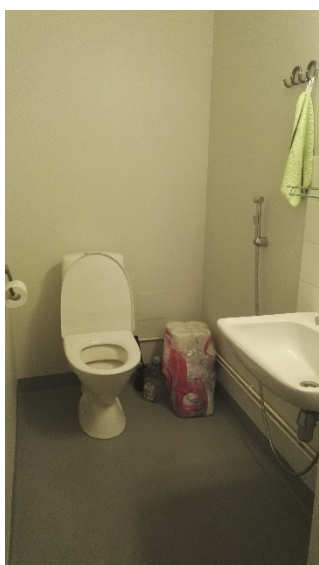
私のアパートは3人でのシェアハウスで、各自1人ずつ、鍵付きの部屋があります。キッチン、トイレ、シャワールームをシェアしています。また、家具付きのアパートになるので、このアパートは交換留学生がほとんどです。そのため、5月末までは学生がいっぱい住んでいましたが、学年の変わり目（フィンランドは新学期が9月始まりなので、今は日本で置き換えると春休みのようなもの）である今は、ほとんどの交換留学生が自国に帰ってしまったため、とても静かです。私のフラットメイトであったアメリカ人とロシア人の女の子たちも、もうアパートを引き払っているの、今は3人用の部屋を1人で使っている状態です。贅沢です。

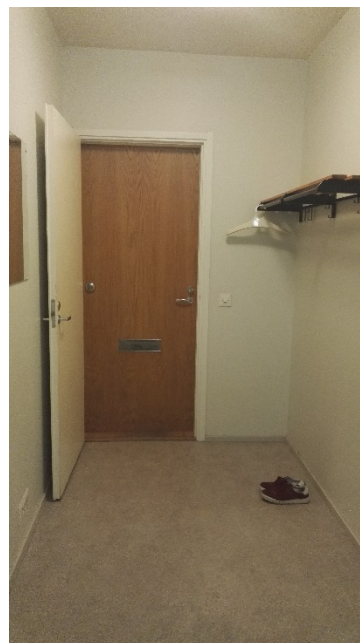
最初、アパートの詳細を読み、築35年ほどだということを知ったので、結構古いアパートなのだろうなと思っていましたが、予想以上にきれいで居心地がいいです（何年前かに改築をしたのかもしれませんが）。部屋には、ベッド、机、椅子、本棚、クローゼットが備わっています（家具付きアパートのため）。キッチンや収納スペースも広く、快適です。

洗濯は少し離れた棟に洗濯機と乾燥機があるので、そこで行います。アパートに住んでいる学生であれば無料で使えるので、助かっています。日本にいるときは乾燥機を利用したことがなかったのですが、洗濯し終わった後、乾燥機を回すと45分ほどで乾くので非常に便利です。ただ、私の部屋から一回外へ出て洗濯をしに行かなければならない点（部屋によっては洗濯機のある場所までとても近い人もいます）と、利用人数が150人ほどいるのに対して、洗濯機2台、乾燥機1台という少なさなので、混んでいるとなかなか使えない点が難点です。



キッチンは、広々としていて使いやすいです。ただ、三人で使うのでタイミングが悪いと混雑しています。





私のアパートはシャワールームとトイレが分かれていて、それぞれに洗面所があるので、便利です。シャワーの温水は、冬でも比較的すぐに出てきました。日本にいたころ住んでいた家よりも、温水はすぐに出てくる気がします。

◎アパートのサウナ

以前もサウナについて書きましたが、もう一度書きたいと思います。

私のアパートには公共のサウナがあり、毎週水曜日の 17:00~20:00 が無料で開放されます。その他の日時に個人的な予約もできますが 8 ユーロかかるようなので、私は利用したことがありません。水着の着用義務は特にありませんが、水着を着て入る人が比較的多い気がします。授業のあった時期は、結構混雑していました。ただ、ついこの間久々にサウナに行ってみたのですが、今の時期、アパートに住んでいる人が少ないため、貸し切り状態で利用できました。

サウナは、脱衣所、シャワー室、サウナ室に分かれていて、私は 2, 3 回“サウナに入る⇒冷たためのシャワーを浴びる”の繰り返しをしていました。冬の時期には、サウナへ入り、外へ出て、庭にある雪へダイブして、またサウナへ入り、といったことをしていた友達もいました(笑)。サウナ自体は、日本の銭湯にあるサウナとあまり変わらない気がします。ただ、こちらの人は、頻繁に焼き石(?)に水をかけ、体感温度を高くさせます。授業があった時期、サウナの中では、交換留学生? 何の勉強しているの? いつからいるの? といったような会話をしています。

サウナから上がった後は、全身がしばらくぽかぽかしているので、お風呂に入ったような気分になれます。

◎最近のフィンランド

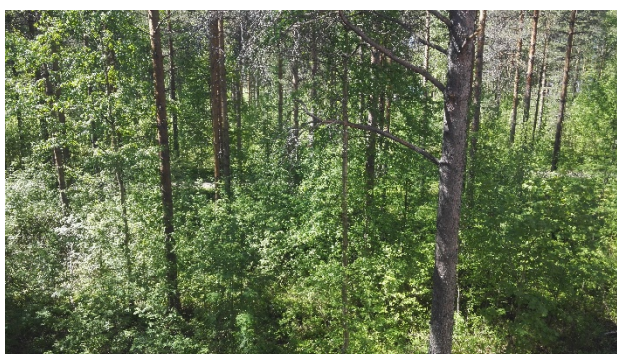
実は、ここ最近旅行続きだったため、あまりヨエンスーにいなかったのですが、、、今の時期でも、日や時間によっては長袖を来ているときも多く、涼しいです。今日はなんと最高気温12℃。また、緑がここぞとばかりに生い茂っています。今まで枯れ木ばかりだった世界が、緑と青空、キラキラとした湖に囲まれ、本当にきれいです。こんな時期が一年中続けばいいのにな、、と思います(笑)。



ヨエンスーの街中です。街の人達は、芝生に寝転がったり、外でお酒を飲んだり、季節が最高のフィンランドの夏を思いっきり楽しんでいます。



3月下旬



6月下旬

左右共に、私の部屋から撮影した外の様子です。同じ景色とは思えないほど、緑がはえてきました。ぼうぼうです。(笑)



6月中旬、フィンランドの夜11時です。正確には、日の出と日没はあるみたいなのですが、夜中も薄暗く、この時期真っ暗になることはありません。

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/ 7 / 1 ～ 7 / 31)

1. 勉学の状況

秋の学期が始まってからレポートを書きたいと思います。

2. 生活の状況

前回は、フィンランドでの生活やアパートの環境を紹介したので、今回は、以前行ってきたヨーロッパ旅行について書きたいと思います。

◎一人旅

交換留学生としてここで出会った友達が、自国へと帰って行ってしまったこともあり、前からやってみようと思っていた一人旅をすることにしました。

今回この旅行で行った都市はワルシャワ（ポーランド）、プラハ（チェコ）、ウィーン（オーストリア）、ザルツブルク（オーストリア）、ミュンヘン（ドイツ）の5都市を2週間ほどかけて回りました。

個人的に好きだなと思った国はオーストリアです。ウィーンは想像していた以上に見どころがたくさんあり、もう一度機会があれば、行きたいと思った街でした。また、やはり音楽の都と言われるだけあり、毎日いろんなところでコンサートなどが行われています。また、オペラが安い席もあるという情報も聞いていたので、オペラも観ることが出来ました。当日券で3000円ほどで個人的にはかなり満足のいく席でした。また、時間に余裕があれば、立見席で500円ちょっとで観れるような席もあり、気軽にオペラを楽しめるような街、ということが衝撃で本当に素敵だと思いました。



ウィーン オペラ座

安い席だったので正装はしていきませんでした、
大人になったら正装をして少し高めの席で見たいです。



モーツァルト像



コンサート会場

クラシック音楽は全然詳しくありませんでしたが、
そんな私でも楽しめる有名な曲が多かったです。



ザルツブルク

映画 the sound of music のロケ地として使われた場所です
個人的にかなりテンションが上がっていました (笑)。



ザルツブルク

本当に空気がおいしく、気持ちよかったです。
ザルツブルクは一人ではなく誰かと一緒に来たいと思った街でした。

◎宿泊

宿泊は安さを求めてドミトリーの共同部屋に泊まっていました。安いですが、共同部屋なので、やはり当たり外れがあります。とても親切な人やフレンドリーな人と知り合えることもありましたが、いびきがうるさい人が4人もいて、全然寝られない日もありました… (苦笑)。

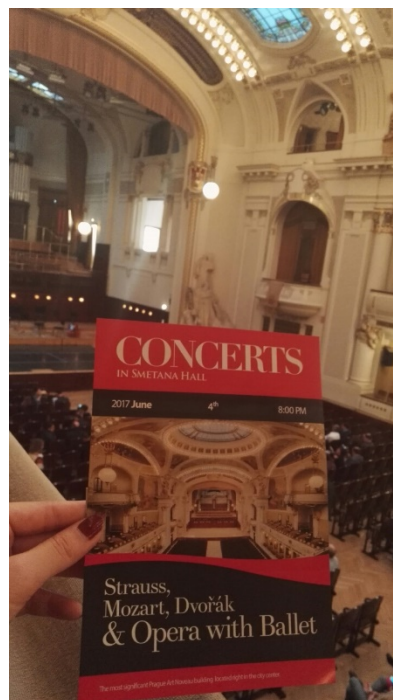
◎チケット検査

海外では、よく、電車に乗るとき改札がないという場面が多いです。しかし、ただ乗りできるわけではなく、チケットは買っておかねばなりません。そして、たまにやってくるチケット検査員に提示を求められたとき、チケットを持っていないと、高額な罰金が科せられます。

検査員が来るという情報は知っていたものの、今まで遭遇したことがなかったため、建前なのではないかと思っていました。しかし、ミュンヘンの市内から空港へ向かう途中、初めて私服の検査員に遭遇しました。チケットはもちろん買っていたので、提示しようと財布を見ると、なぜかいつも入れているはずの場所にチケットがありませんでした。検査員はどんどん近づいてきて私のところへ来ましたがまだチケットは見つからず、チケットが見つからない旨を話してももちろん信じてもらえないので、「後で戻ってくるから、見つからなかったら罰金だぞ」と言われ進んで行きました。その時、やっと鞆の中にあるチケットが見つかりました。おそらくスルツと鞆の中に落ちたのだと思いますが、今までそのようなことがなかったので本当に焦りました。

無事、罰金は払わずに済み、空港まで到着することが出来ました。

海外では、チケットの管理は大切だと改めて痛感する出来事でした。





ドイツ ノイシュヴァンシュタイン城
シンデレラ城のモデルとも言われているお城です。
とてもきれいでしたが、観光客が非常に多かったです。

一人旅は初めてだったので、行く前は不安もありましたが、自分のペースで観光が出来たり、英語で話す機会が多かったので、すごく充実した旅行になりました。また、お金と時間の余裕が出来れば行きたいと思います。

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/8/1 ～ 8/31)

1. 勉学の状況

授業は来週ごろから始まります。

レベルが高いと言われている北欧、フィンランドの教育には以前から興味があったので、今期は、教育系の授業を積極的に受講していきたいと思います。次の報告書では、授業の様子をレポートしていきたいと思います。

2. 生活の状況

◎新しい出会い

先学期に出会った日本人の友達の大学の後輩や、ランドリーで出会った学生に「日本人だよ」ということを言うと、「一緒のクラスで日本人の子がいるよ！」などという紹介もあり、何人かの日本人とすでに出会うことが出来ました。今知っているだけで、7人です。私の学期に来た日本人は、私1人だけだったので、新鮮な気持ちを日本語で共有できるというのは、羨ましい気がします。(笑)

1月からいるということと、まだ季節が心地よいということもあるせいか、自分の気持ちに余裕が出てきたように思います。(授業が始まるとまたこの気持ちも変わるのかもしれませんが。。。)今までは、去年の夏からいた日本人の友達に身の回りのことなど、聞いたり、頼ってばかりでしたが、今期に入り、ネットワークのこと、学校のことを聞かれたりすると、1月からここヨエンスーで生活してきたのだな…と改めて感じます。

また、オリエンテーションなどが終わり、落ち着いたたら、ウェルカムパーティーをしたいと考えています。

◎フラットメイト

新しいフラットメイトが出来ました。私のアパートは、3人でのシェアルームで、キッチン、ダイニング、シャワー、トイレは共有し、各自の部屋があるという形です。以前のフラットメイトは、先学期で終わりだったので、2人とも自国に帰り、少しの間、私が1人で3人部屋を使うという贅沢のような寂しいような状態が続いていました。そして、今は新しいフラットメイトが2

人とも揃ったという状態です。やはり、人が変わると雰囲気も変わり、心の余裕が出来ているせいなのか、以前よりも楽しく過ごせています。先日もフラットメイトのポーランド人の子に、パンケーキを焼きすぎたから、と1枚いただき、美味しかったです。また、日本料理もなにか作ってご馳走できたらなと思います。



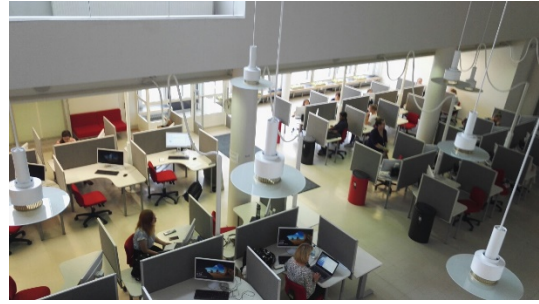
フラットメイトがパンケーキにベリーを入れていたのですが、フィンランドでは、そこら中にブルーベリーやラズベリーが生えているので、とって食べたりします。甘酸っぱくておいしいです。お店でも売っています。

◎最近のヨエンスー

今の気候は大体15℃ぐらいで、寒すぎず、暑すぎず、とても快適です。日照時間は朝の6時から夜の8時までと、日本より少し夜が長いかなといった感じです。フィンランド人の方に、雪はいつ振り出すかを聞いてみたところ、やはりこれも、年によってバラバラで、10月で降り始めたという年もあれば、1月で降ったという年もあったみたいです。今年は5月にも関わらず、まだ雪が降るといった、フィンランド人にとっても珍しく冬が長かったみたいなので、初雪の日が伸びることを祈るばかりです。(笑)



マーケット広場



大学の図書館（少しリニューアルしました）

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/9/1 ～ 9/30)

1. 勉学の状況

ほとんどの授業が始まりました。今期は以前から興味があった教育系の授業をメインにとっています。

教育は、先学期に受けていた授業よりも、分かりやすい授業が多く、フィンランドの教育について考えるにしても、日本で今まで私が受けてきた教育と比べることが出来たりと、自分からの発信もしやすいように感じます。

当たり前のことですが、やはり自分の中での考えや知識がないと、英語で表現していくことは無理だと感じています。

例えば、たまにこちらの友達と話しているとき、政治の話が出てきます。海外の友達は、政治に関心のある人が本当に多く、自分の国のことについて詳しいです。一方、自分はとなると、恥ずかしながら、まだ知らないことや情報も多く、全然喋れません。これを機会に、もっと知っていかなくてはならないなという危機感と、日本語で表現できないものは、英語で表現できないということ、改めて感じる瞬間でした。

2. 生活の状況

◎学食

なんと、学食の価格が値下がりしました。今までは2.45ユーロと、それでも安いと思っていたのですが、今は1.88ユーロです。内容は、その日の一品を選んで、(大体はベジタリアン向け、ノンベジタリアン向け、スープです) サラダ、パンはとり放題です。メインの一品も大体は自分で量を決められるので、食べ放題のようなものですね(笑)。

価格は安くなりましたが、料理の質が上がったような気がします。(気がするだけかもしれませんが)

いつも私が利用している食堂は、Carelia という棟の食堂です。メインの食堂なので、他の食堂よりも営業時間は長いのですが、授業後などに行くと、いつも長蛇の列があり、混んでいます。ただ、買って自分で作るよりも安いぐらいの値段なので、昼食だけでなく、早めの夕食も学食で済ませることもたまにあります。

もう一つおすすめなのが、Carelia から10分ほど歩いたところに Science Park という、東フィ

ンランド大学の研究施設が集まった建物があるのですが、そこも学生価格で食べられる食堂が1つあります。値段は2.6ユーロとメインのキャンパスよりも少し高いのですが、食後にコーヒーか紅茶を一杯もらってよいのです。メインのキャンパスの学食よりも空いているのですが、先学期よりも質が落ちたかなと感じることと、メインのキャンパスの学食が値下がりしたので、先学期ほど積極的には利用しなくなりました。



いかにも毒のありそうなキノコ達です(笑)



たまに生えています。



学食 コスパが本当に最高です



新入生のイベントで、相撲をやっていました。私もちゃっかり参加しました(笑)

キノコが生えていたり、葉が少しずつ黄色くなり、紅葉が始まったりと、秋を感じるようになりました。服装はもう、ダウンジャケットを着ています。ただ、冬のことを思うとまだまだ寒いとは言ってられないですね。(笑)

派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/1 ～ 10/31)

1. 勉学の状況

◎Finnish Educational Systems and Organisations

この授業では、フィンランドの教育システムについて、レクチャー式の授業です。教育が進んでいると言われているフィンランドの教育理念、どのような教育がされているかを学びました。この授業とは直接は関係なかったのですが、授業見学に行ける機会があったので、何度か小学校、中学校の授業見学をさせてもらいに行きました。感想は、自由、少人数です。自由というのはいい意味でも悪い？意味でもです。小学生のクラスでは、授業中に寝そべったりする子もいれば、中学校では、紙飛行機を飛ばしあっている子もいました。日本でこんな授業状態であれば、授業崩壊なのだろうなと思わず感じてしまいました。

しかし、日本で私が受けてきたクラスよりも、みんな積極的に意見を出し合ったり、ディスカッションが多かったりと、この自由な空間があるからこそできることなのかなとも思いました。日本とフィンランドでは、国も違えば文化も違う、もちろん根本的な考え方も違ったりするので、そっくりそのままフィンランドの形を導入するというは無理ですが、何かしら影響を受け、日本の教育の向上もできるのではないかと感じました。

◎Finnish Music Education

フィンランドの音楽の歴史について学んだり、フィンランドの伝統楽器を実際に演奏できたりする授業です。こうやって授業で実際にいろいろな楽器を演奏することは、小学生以来のような気がします。(笑)

下の写真は、カンテレというフィンランドの伝統楽器です。幼稚園の時から触れる機会があるような親しみのある楽器のようです。



2. 生活の状況

◎International Dinner

インターナショナルディナーというイベントがあり、参加してきました。このイベントは、自国の料理を持ち寄り、みんなで食事会をしよう！といったようなイベントです。

先学期も参加し、前回はおにぎり、肉じゃが、お好み焼きを私のグループは作りました。(ただ、行くのが遅れてしまったため、残念ながら、他の国の料理をあまり食べるできませんでした…。)

今回は、私はチャーハンの担当になり、他の日本人の子たちは、お寿司、お好み焼き、焼きそばを作ってきてくれました。少し、日本食をもらったのですが、どれも美味しかったです。

他の国では、ポテトをつかった料理が多く、特にトルコはクオリティーが高かったように感じます。



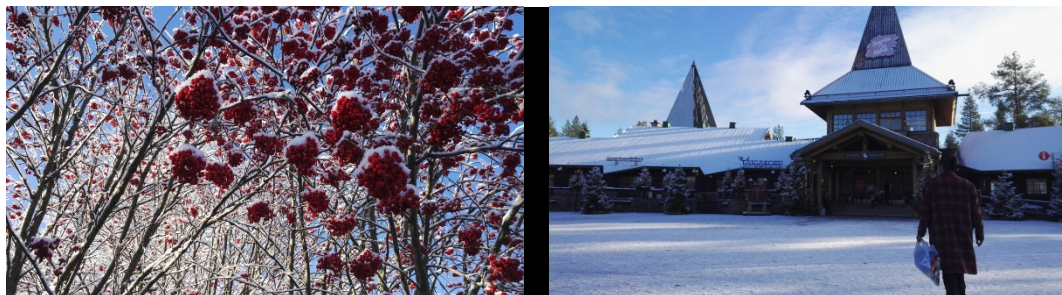
トルコの料理 スパイシーでした

◎ロバニエミ旅行

10月中旬ごろ、オーロラを見に行く+サンタさんに会いに行く という目的で、サンタ村があり、オーロラ観測もできることで有名なロバニエミという地域に行ってきました。

サンタさん、本当に可愛かったです。

オーロラはというと、天候が曇っていたせいもあり、見ることは出来ませんでした。なんとなく、オーロラかなというものは見えたのですが、雲と言われれば雲のようで…感動もなく…といった感じです。



サンタさん 本当に可愛かった…

◎ラーメン作り

フィンランドで、日本に興味を持ってきている人達のグループがあり、ラーメンを食べようという企画があったので、参加してきました。日本語が喋れる人がいるといことは聞いていたものの、思っていたよりも堪能な人が多く、驚きました。やはり、漫画やアニメから影響を受け、日本語に関心がある人がほとんどで、日本にアニメ文化があってよかったなと感じる瞬間でもあります。



◎最近のヨエンスー

10月上旬はまだ紅葉がきれいで、気候もよかったのに、もう10月下旬には雪が降ってきました。まだ10月なのに…笑

今は積もってなかなか溶けることのない雪ですが、フィンランド人の友達によると、クリスマス前に最近では溶けてしまうそうです。地球温暖化の影響なんだとか…。そんな年のクリスマスはブラッククリスマスと呼ぶそうです。(笑)

一時期、ずっと曇り、ひたすら寒い、日照時間が短くなってきているなどの理由からか、少し気持ちが沈んでいました。11月はフィンランドでは死の月ということも聞いたことがあるので、しっかりとビタミンDをのんで、体を動かし、友達と話し、気持ちが沈んでいかないよう気をつけたいと思います。

もうフィンランド生活も残すところあと少しとなってしまいました。思い返してみれば、一年前には知らなかったいろいろな景色や友達が増えました。早かったような長かったような…。残りのフィンランド生活も悔いのないように過ごしていきたいと思います。



10月上旬のきれいな紅葉



フィッシュマーケットでのサーモン

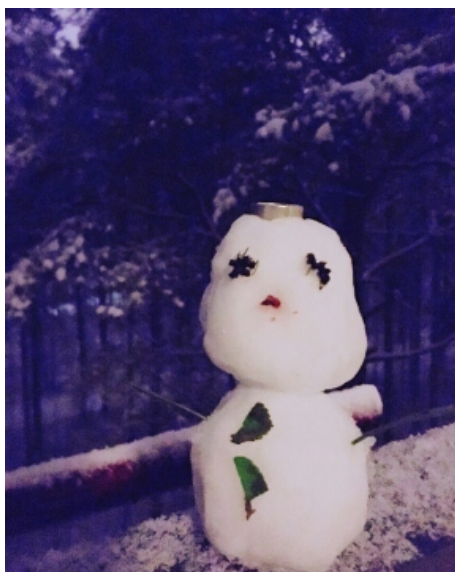


お菓子屋さん

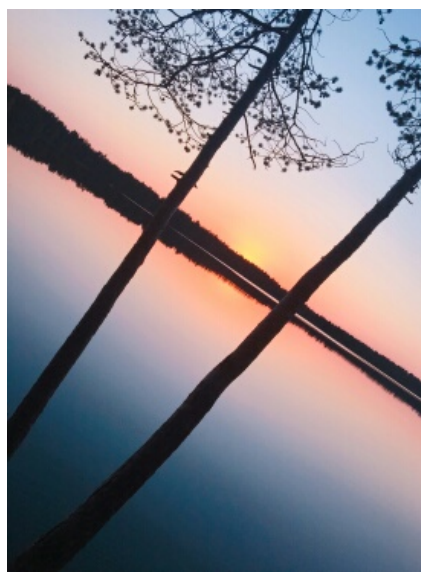
量り売りが多く様々な種類があります



10月下旬 もう雪が…



雪だるま☆



ヨエンスーのきれいな夕日